

椅子の寿命を延ばす
愛情の仕事。
趣味の天体観測も
ここなら行動範囲。

さとう しゅういち
佐藤 修一 さん(30代)

<湯川村>

椅子職人
(起業)

2020年 Uターン

湯川村にUターンして起業

『会津盆地のほぼ真ん中に位置する湯川村。福島県一面積の小さな村ですが、村内には人気の道の駅あいつ湯川・会津坂下があったり、車で20分も走れば会津若松市、喜多方市の商店街にも行ける便利な村です。村には山がなく、ほぼ標高差がない地形を活かした米作りをしており、米どころ会津の中でも「湯川村のお米は美味しい」と言われるほど高い品質を誇っています。』

手に職を付けたいと椅子職人の学校に通った佐藤さん。実家の業種を継ぐのではなく、起業し実家の店舗内に仕事場を作りました。そのきっかけ、湯川村の魅力を作業場にお伺いして取材しました。』

取材日 2022年12月8日

移住のきっかけと椅子の仕事

<移住のきっかけ>

実家は湯川村でふとん屋をしているのですが、父から「店で椅子職人をしないか」と、戻ってきてほしいという話があったことがきっかけです。

湯川村には高校生までいたのですが、卒業後は栃木県の会社に8年間勤務しました。その後椅子の仕事をしたいと京都府にある椅子の専門学校に2年間行きました。父から話があったのは専門学校を卒業し、東京都で働いていた時です。その頃、会津若松市では長年椅子を修理していた方が辞めてしまい、職人がいない状態でした。椅子職人は地域に一人いる程度がちょうどいいので、私が戻ることによって仕事になると思い、移ることにしました。

<椅子職人としての仕事>

実家のふとん屋の一角に仕事場を新築しました。仕事は椅子やソファの生地部分の張り替えや、椅子の木の部分を布地にする等の修理全般です。椅子やソファって、新築の時に買ったなど思い出が詰まっているのでポロポロになっても捨てられないという人が多いです。表面の傷みであれば布地を張り替えるだけで生き返ります。今は昔より生地が進化しているので、まずは椅子を使っている環境をお伺いします。例えば猫を飼っているという方には、猫が爪をたてても傷がつかない生地を提案します。撥水を重視してレザーにしているという方もいますが、今は布でも撥水タイプがありますので温



かさと撥水が同時に手に入ります。ちょっと前に流行った布地がない籐の椅子でも、手を加えて座る部分を布にすることもできます。他にもちょっと変わったもので言うとスノーモービルの椅子を張り替えました。私からみると張り替えればほとんどの椅子がもっと使えます。なので、椅子が捨てられているのを見るのと悲しくなります。

こんな風に私が自由に仕事が出来ているのは継承ではなく、新しく始めたことが大きいと思います。

湯川村での暮らしと魅力

<湯川村での暮らし>

15年ぶりの湯川村ですが、東京で働いたことで湯川村の良さが分かるようになったのだと思います。仕事で神経をすり減らすようなことはなく、自由に仕事が出来ているのも会津地域だからだと思います。その代わりと言ってはなんですが、小さな村なので除雪をしたり、地元の人との付き合いはあります。父と母、姉がふとん屋をしていますので、地元の人との付き合い方もバランスがとれていて私にとってもいい環境だと思います。

デメリットとしては、湯川村の中にはスーパーや病

院がないことですかね。会津若松市や喜多方市に行く必要があります。ただ、車で20分ほどなので不便ではありません。あと、映画館が会津地域にはないので福島市や米沢市に行ったりします。これが片道車で2時間ほどかかるので、簡単に行ってみようとはなりません。

湯川村のメリットとしては4km四方の小さな村なので1日で村内をぐるっと制覇できることですね(笑)

<湯川村の魅力>

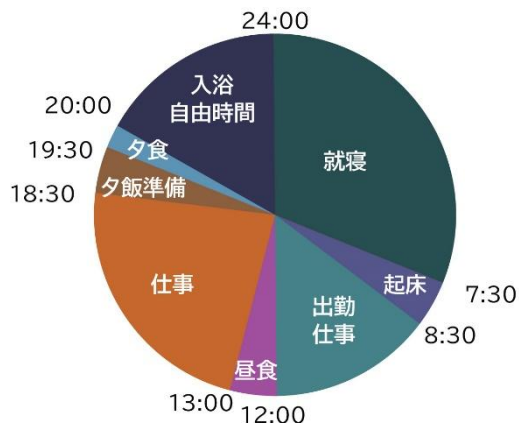
私が専門学校に行っていた時に天文同好会に入ることがきっかけで天体観測が趣味になりました。最初の会社がカメラ関係の会社だったこともあり、カメラも天体観測用のものを持っています。見に行く時は車に荷物を全部積み込んで本気でいきます。

湯川村に移る前は見る場所や時間などを決めて、移動時間もかなりかけて星を見に行っていたのですが、湯川村に移ってから環境がいいことに気が付きました。普通の日でも、家から車で10分も走れば天の川がくっきり見える場所があったり、流星群や特別な天体観測の時でも車でちょっと走ればいい場所が何か所もあります。特にここから2時間ほどのところにある田村市の「星の村天文台」はいいですね。標高630mほどと山頂付近にあって、天体観測には向いている場所だと思います。他にも全国トップクラスの光害が少ない奥会津なども気になっているので時間を作って行ってみたいと思っています。



椅子のサイズにあわせ生地を手早く裁断する

ある一日のスケジュール



佐藤さんの行動歴

湯川村生まれ ⇒ 栃木県(就職) ⇒ 京都府(専門学校) ⇒ 東京都(就職) ⇒ 湯川村へ

移住を検討している方にアドバイス

集落に住むのであれば過度な期待はしない方がいいです。村仕事もあります。



ふとん屋さんの奥にある作業場の入り口前にて

湯川村について

現住人口 3,005人 男性/1,466人 女性/1,539人 令和4年4月1日現在

面積 16.37平方キロメートル

標高 海拔 180.3m(湯川村役場)

最寄駅 JR磐越西線「会津若松駅」

最寄IC 磐越自動車道「会津若松IC」

保・幼稚園 認可保育所 1ヶ所 幼稚園 1園

小学校数 公立 2校

中学校数 公立 1校

高校数 なし(周辺の市町にあり)

病院数 なし(周辺の市町にあり)

村の特徴 湯川村は福島県で一番小さな村である。4キロ四方のこの村では、米作りが盛んで秋にはまるで村全体が一枚の田んぼのような美しい風景を見せる。村の古刹、勝常寺の本尊である薬師如来坐像は国宝の指定を受けている。

**移住
サポート
窓口**

湯川村役場(産業建設課)

福島県湯川村公式WEBサイト 移住支援施策

https://www.vill.yugawa.fukushima.jp/shoukoukankou/iju01_2.html

電話:0241-27-8831

メール:kanko@vill.yugawa.fukushima.jp

